

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型ライフサポートー互一笑		
○保護者評価実施期間	令和7年12月20日		～ 令和8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日		～ 令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型の事業所であるため、児童発達のお部屋だけでなく生活介護、就労との共有スペースの利用や、様々な年齢の利用者様との交流などが図れること。	当日の利用人数や状況に応じて、共有スペースや別室を活動スペースや個室として利用できる。また、他サービスのイベントへの参加なども可能である。	事業所内のみならず、同法人の他事業所のイベント（GH海と空のボランティア活動、絵本読み聞かせ会）などへの参加を活動に組み込んでいくことができる。
2	職員の資質の向上のための研修の機会が毎月1回以上設けられており、それにより障害についてのみならず、人間性の向上や虐待防止、感染防止等についても勉強できること。	部署ごとに毎月勉強会を開催し、職員が講師となり障害についての専門的な理解を深めるための課題を設定し、資料を作成したり伝達したりすることにより全員が報告書を提出し有効性を評価している。	外部研修に参加した職員が、研修で学んだことを一人のものにせず、他職員へ伝達研修という形式で共通理解を深めている。
3	日々の支援の記録に関して、丁寧に記録をとることが徹底されており、その記録を日々の支援の検証・改善とともに個別支援計画の進捗確認や見直しにつなげていること。	ケア記録の共有により日々の支援の様子を職員全員が把握できるのはもちろん、連絡帳や送迎時のご家族様とのコミュニケーションを大切に情報共有を図っている。	一人ひとりの課題やニーズを職員全員が把握し共通した支援を実施するとともに、子どもとご家族の最善の利益を追求していくことに努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務改善のためにPDCAサイクルの取り組みを強化していくこと。	震災の影響で、業務改善のための目標設定や振り返りするための取り組みの再開が遅れた。	業務改善に対する個人の意見の集約や個人目標の設定、振り返りを継続していく。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫をしているが、近隣に使用できる施設（公共施設・公園・アリーナ等）が少なくなり、様々なプログラムを組み込むための資源が不足している。	震災の影響で児童発達の利用者数が減少し、全員が平日は保育園を利用しているため、土曜・祝日に放課後等デイサービスの活動と合わせながら個別のプログラムを組み込むための環境（場所・人員）との調整が難しい。	一人ひとりの特性や課題に応じて、活動プログラムが固定化しないよう、曜日、利用者、利用時間に応じてきめ細やかに個別のプログラムを計画する。
3	身体拘束について、職員については虐待防止委員会の設置や研修等への参画により周知徹底がされている。また、放課後等デイサービス・児童発達支援とともに該当するケースがないため、個別支援計画に身体拘束についての項目が表記されていない。	障害特性に応じて、危険が伴う場合に限りやむを得ず身体拘束を行う場合があることを保護者様には個別に説明し同意を得ているが、計画書への記載はされていない。	身体拘束について組織的に決定した事項をそれぞれ保護者様や子どもたち本人に説明・同意を得た上で、個別支援計画に順次記載していく。

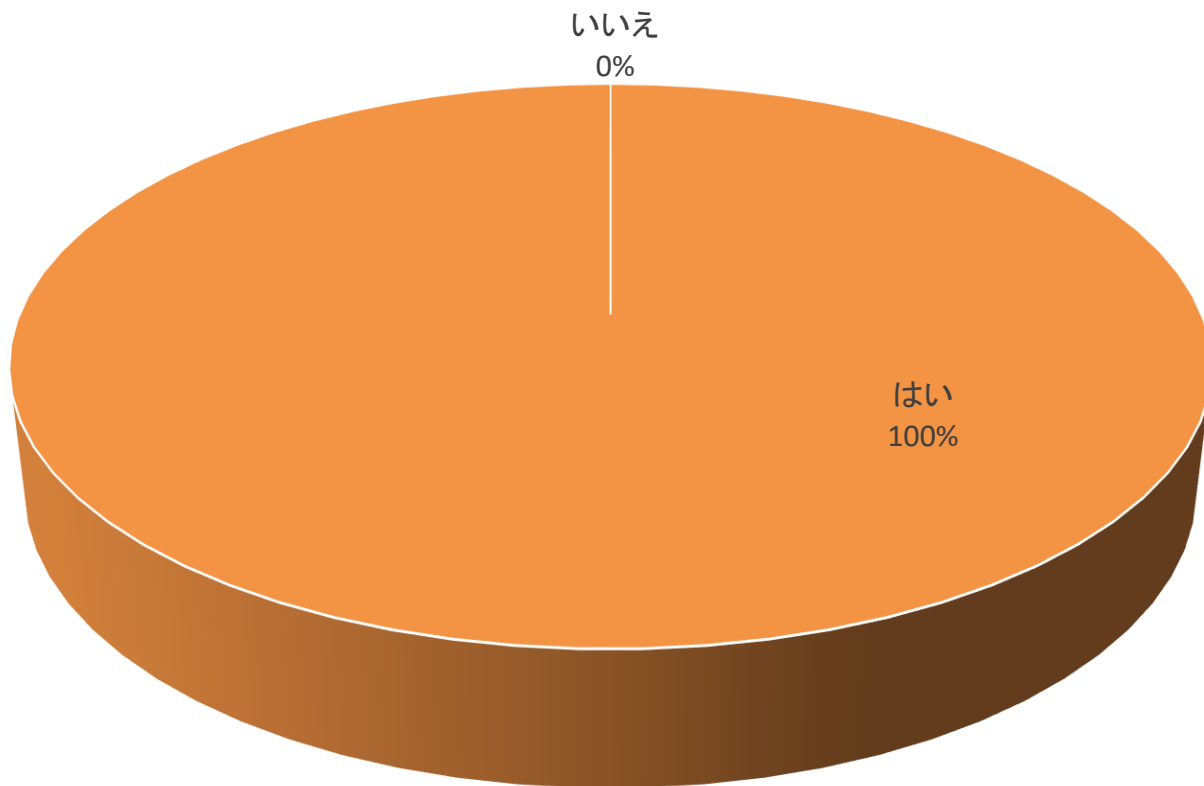
児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 8年 2月 28日

事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

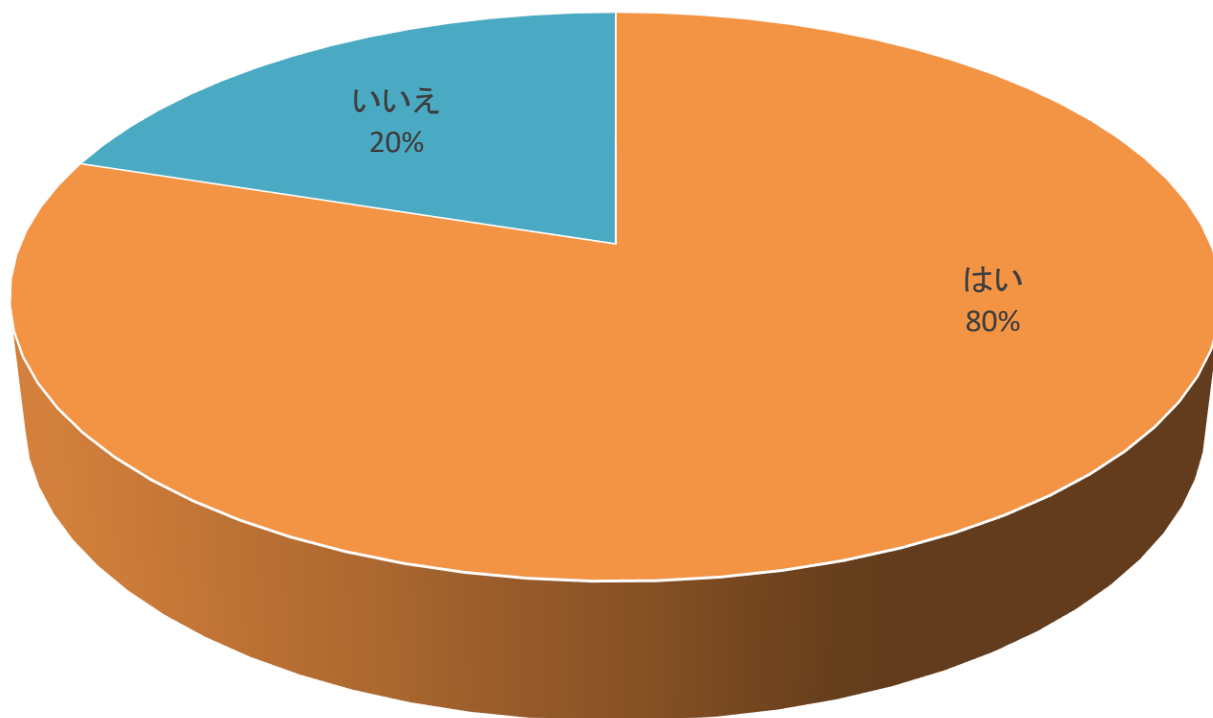
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	* 発達支援室のスペースは利用定員が十分活動できる広さを確保しているが、当日の利用人数や障害特性に合わせ、交流スペースや別室を利用するなどして個別対応ができるようにしている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	6	0	* 基準以上の人員を配置し、安全の確保を図っているが、子どもの状態や障害特性に応じて更に人員が必要と考えられる場合は、他部署からの応援体制を整えている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6	0	* 設備等についてのバリアフリー化をはじめ、障害特性に応じた環境づくりを心がけており、こどもにわかりやすく伝わるよう構造化することを心がけている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	* サービス開始前と終了後、毎回部屋の清掃や玩具の消毒を行うとともに、活動に合わせて机やパーティションで空間を仕切るなどの工夫をしている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	6	0	* 個別対応が必要と考えられる場合は、その都度ご家族にも説明・了解をいただき、別室等を使用できるように環境を整えている。
	合計	30	0	

環境・体制整備

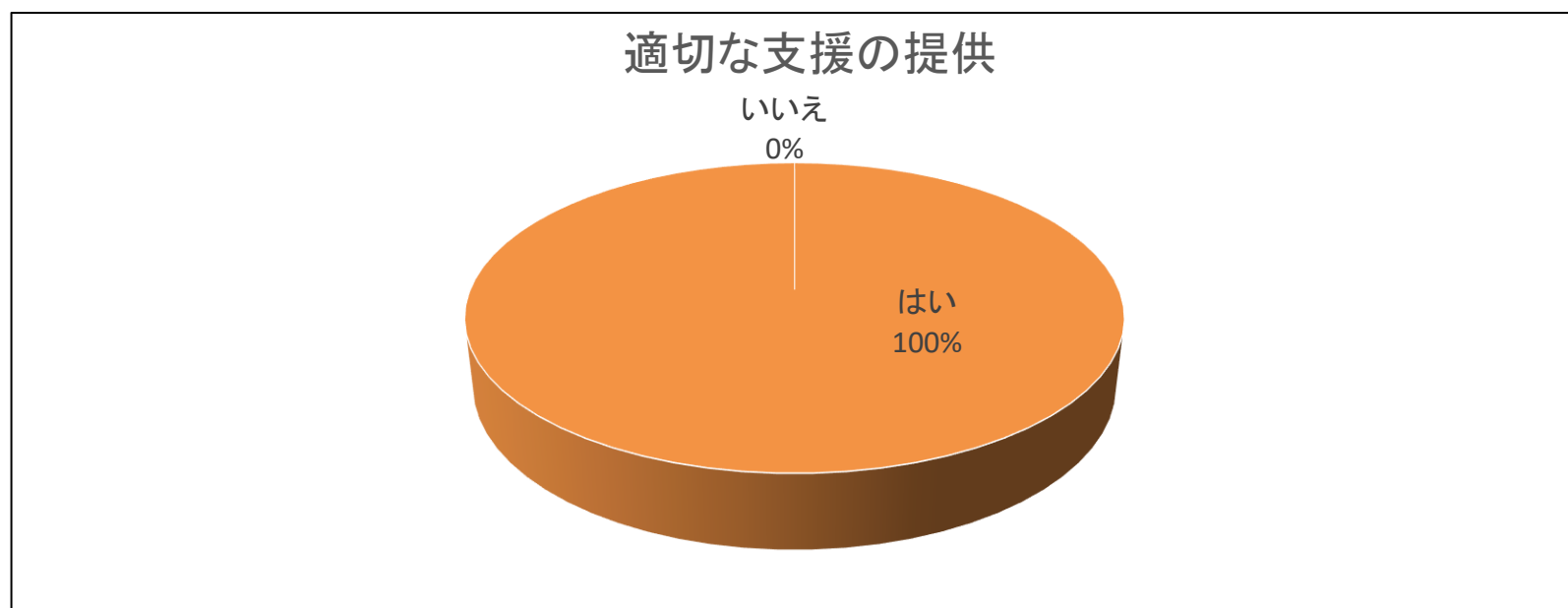


		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	* 職員会議の中で、業務改善について話し合う時間を設け、全体と個人の目標設定と振り返りを行っている。
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	6	0	* アンケート調査でいただいた評価結果により、保護者様の意向を把握し、改善を図っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	6	0	* 職員の意見等を毎日の終礼やミーティング時に児童発達管理責任者やリーダーが把握し、職員会議の中で事業所内で検討した上で改善に取り組んでいる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	* 第三者による外部評価は実施しておらず、保護者からの意見を参考に業務改善に取り組んでいる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	6	0	* 毎月部署ごとの勉強会や内部研修を実施するとともに、外部研修についても職員が順次受講できるよう年間で計画している。
		合計	24	6	

業務改善

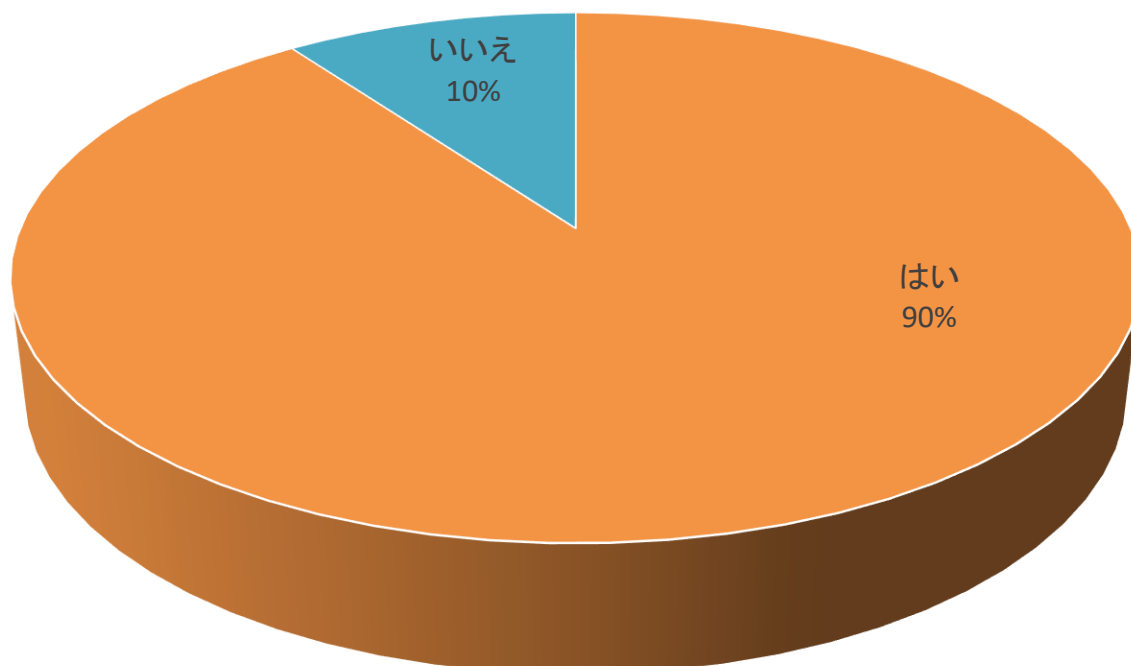


	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	6	0	* サービス担当者会議や個別の聞き取りでご家族にアセスメントを行い、1人1人のニーズや課題を把握し、関係機関の意見も参考にして支援プログラムを作成し公表している。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	* 利用開始時に施設の様式でご家族にアセスメントを行い、1人1人のニーズや課題を把握し、その後は毎月1回支援の振り返りを行い、児童発達支援計画を作成している。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	* モニタリングや個別支援会議には児童発達管理責任者だけでなく子どもの支援に関わる職員全員が参加することで情報共有し、ひとりひとりの特性に応じて必要な項目が充足されているかを確認して児童発達支援計画を作成している。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	6	0	* 児童発達支援計画は個別支援会議等で職員間で共有し、計画に沿った支援が行われているかどうかを毎日のミーティングや月末の職員会議等で随時確認を行いながら支援している。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	6	0	* こどもの支援時の様子については、ケア記録や支援振り返りシートなどに記録したり、毎日のミーティング等で行動観察について適宜報告や確認を行っている。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	* 児童発達支援計画は児童発達支援ガイドラインのねらいやひとりひとりの特性に必要な項目と具体的な支援内容を踏まえて設定している。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	* 活動プログラムは年間計画・月度計画について事前にチームで案を作成し、その都度関係機関や保護者にも確認し決定するようにしている。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	* 活動プログラムは季節行事などの集団活動を軸とし、こどもの意思を尊重して実施する個別活動を組合せ、固定化しないよう工夫している。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	6	0	* ひとりひとりの課題や利用日など、こどもの状況に応じて全体的な視点で活動を組合せ、サービス導入時や個別支援計画の更新時に、関係者や保護者の意見を踏まえて作成している。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	6	0	* 朝のミーティングで随時打ち合わせと確認を実施している。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	* 支援終了後には、当日の気づき等の振り返りを行い、情報の共有を図っている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	* 日々の支援についてケア記録を作成し、施設の様式を用いて検証し、改善方法の検討を行っている。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	6	0	* 毎月定期的に施設の様式によるモニタリングを行い、見直しが必要と思われる場合は、計画の変更を行っている。
	合計	72	0	



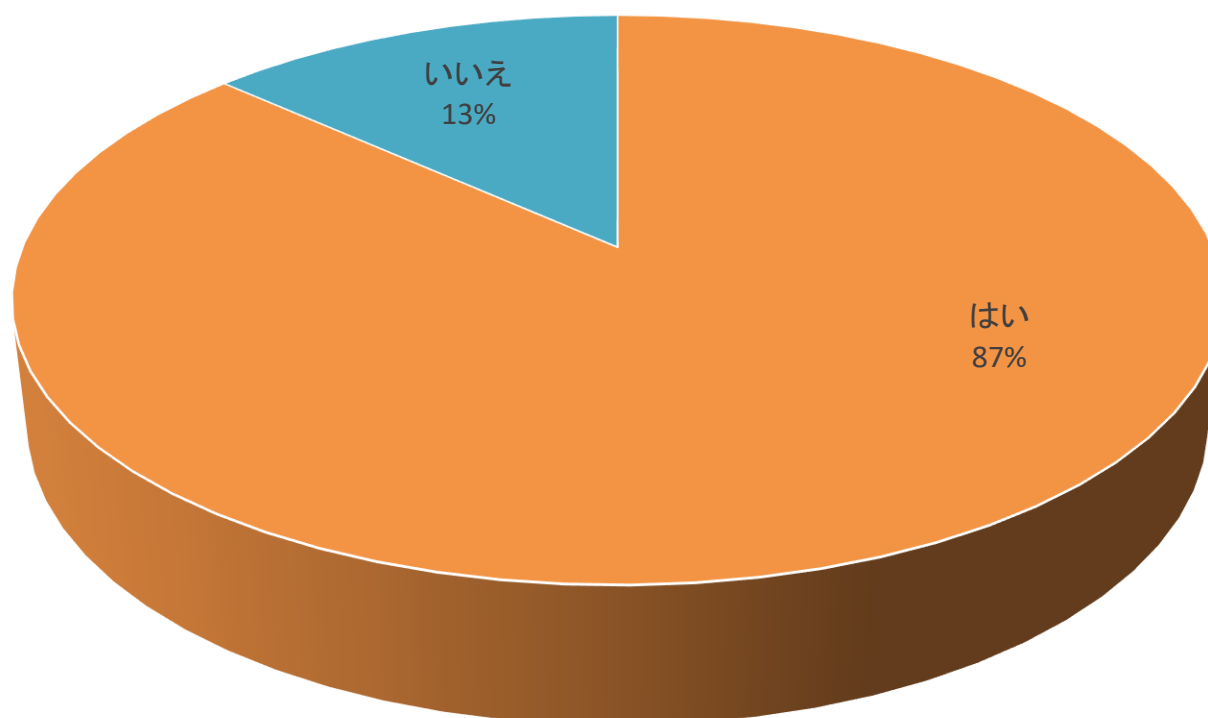
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	6	0	* 利用児に対し担当の職員を配置し、児童発達管理責任者と一緒に会議に参加している。
	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	6	0	* 利用開始時に担当の保健師との情報共有を行っているほか、必要時には関係機関と連携を行っている。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	* 必要時には、関係機関と連携を行っている。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	* 移行時に訪問や担当者会議を行い、情報の共有を図っている。
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか	6	0	* 管理者が会議等に参加し、情報の共有を行っている。
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	6	0	* 職員の資質の向上のため、研修に参加する機会を作っている。
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	0	* 職員の代表が会議に参加するようにしている。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか			※31は、児童発達支援事業所のみ回答
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域中で他のこどもと活動する機会があるか	0	6	* 以前は少人数で市が開催する障害のない子どもたちと活動するうさちゃん広場等に参加していたが、震災以降は参加できていない。今後機会があれば参加していきたい。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	* 送迎時などに保護者にこどもの状況を伝えたり、相談を受けたりするとともに、連絡帳なども利用し、共通理解に努めている。
34 家族の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	6	0	* 職員がペアレントトレーニングの研修を受け、ご家族を支援する体制を整えている。	
	合計	54	6	

関係機関や保護者との連携



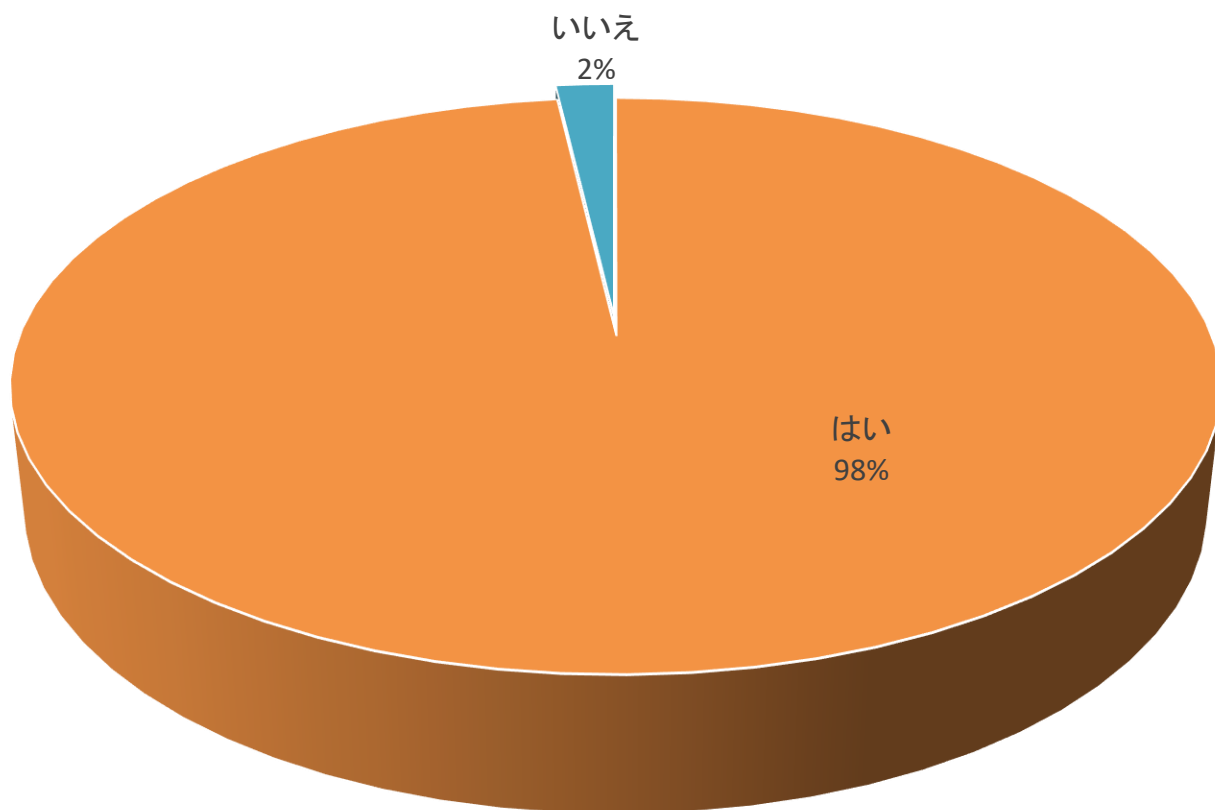
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	* 契約時に口頭と書面で説明を行っている。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	6	0	* 支援計画作成前のモニタリング時に、子どもの最善の利益の優先を考慮してご家族と話し合い、子どもとご家族の意向を確認している。
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	* 支援計画作成後に、口頭と書面で説明を行い、同意の元でサインをいただいている。
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な助言と支援を行っているか	4	2	* ご家族には送迎時等に声掛けし、話しやすい雰囲気作りに努めることで相談を受けたり、必要時に随時面談に応じるようにしている。
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	5	1	* 震災前は保護者会やイベントの開催などにより家族同士が参加し交流できる機会を設けていたが現在はできていない。今後は開催に向けて調整していきたい。
	40 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	* 相談や申し入れがあった場合は、出来る限り迅速に対応できるように努めている。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	* SNSやHPに随時活動の様子などを発信したり、毎月、行事予定のお便りを配布している。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか	6	0	* 職員に周知徹底している。
	43 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	* ひとりひとりの特性や状況に応じて必要なツール等を使用し、コミュニケーションをとるようにしている。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	* 感染対策を十分にとった上で、地域の方々に行事等を案内し、参加いただけるようにしている。
	合計	52	8	

保護者への説明責任等



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	45	6	0	* 各種マニュアルは策定されており、発生を想定した訓練も定期的実施しているが、今後は保護者の方々に周知していく。
	46	6	0	* 事業所全体で定期的に訓練を行っている。
	47	6	0	* 基本的には利用開始時と年度初めに確認している。服薬については変更があった時に随時情報を更新している。
	48	5	1	* 食物アレルギーについては、医師の指示書を共有し、給食やおやつについてはご家庭からの持参などの対応をお願いしている。
	49	6	0	* 年間の安全計画を作成し、毎月避難訓練や感染防止の為の研修等を実施するなど安全管理のもとで支援を実施している。
	50	6	0	* 避難訓練や感染防止については保健だよりや放課後のお便り、SNSやHPなどで周知するようにしている。
	51	6	0	* リスクマネジメント委員会が毎月の会議で報告し、ヒヤリハットの情報共有をはかっている。
	52	6	0	* 虐待防止の外部研修に職員の代表が参加し伝達研修を行うとともに、内部研修も全員参加で実施している。
	53	6	0	* 虐待防止委員会を設置し、定期的に研修を実施して職員に周知徹底している。
合計		53	1	

非常時等の対応



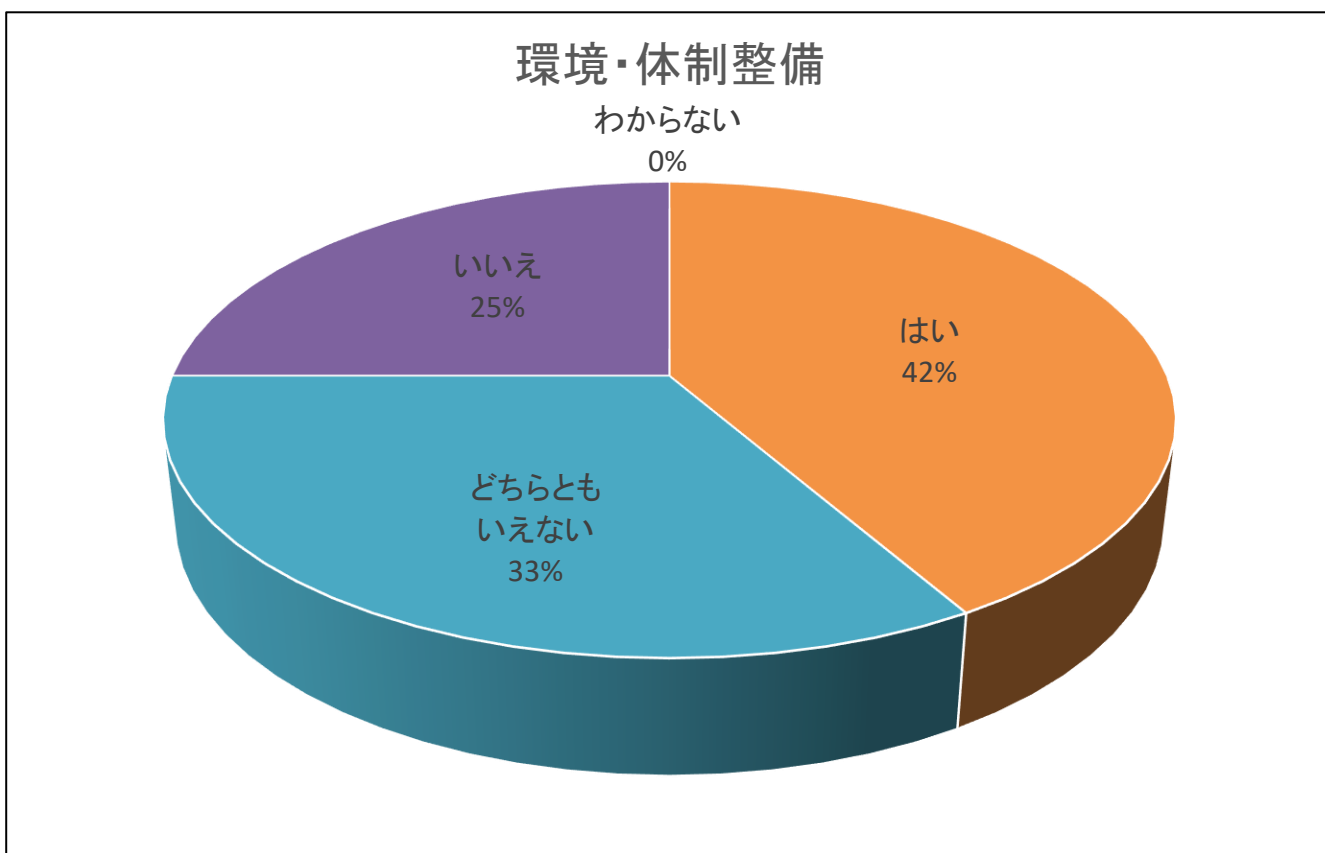
保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 8年 2月 28日

事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

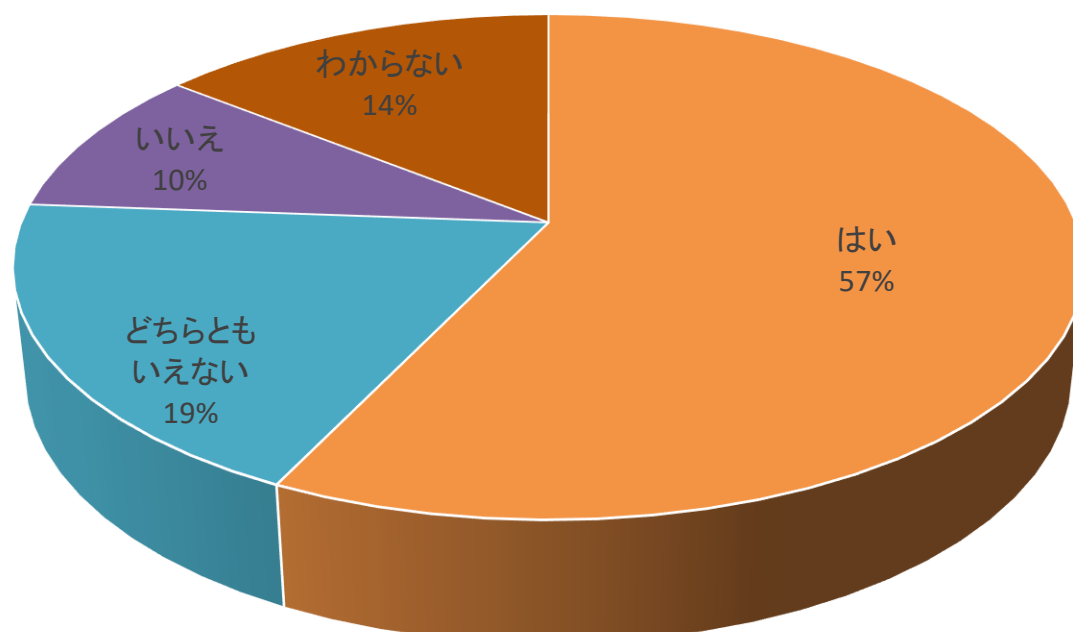
保護者等数(児童数) 回収数 3 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	2	1	0	0	* 利用者の人数や年齢差が大きい場合はスペースが狭く感じることもある。	* 利用人数に応じて、同事業所の交流スペースを利用したり、活動の時間帯をずらしてスペースの確保を行っています。また、年齢差が大きい時はグループで分け施設外活動を取り入れるなど工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか	1	0	2	0	* 関わり方やサポートなど一人一人違い、一つの部屋で過ごすのは難しいと思うが安心・安全に過ごせるように居場所を提供して欲しい。 * 障害の程度にもよるが、トラブル回避、対応がスムーズに行くようになるべく多くの職員さんに見守ってほしい。	* 利用人数に応じて、定員以上の配置を行っていますが、安全・安心に過ごせるよう更に個別対応や障害に応じた支援ができる人員配置を実施していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境*1になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特使に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか	1	2	0	0		* 生活空間は、こどもにわかりやすい環境に配慮し、バリアフリー化されています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか	1	1	1	0	* 安全性に配慮した環境設定は、預ける側にとって施設利用の安心につながります。 * 利用人数や年齢差が大きい場合はスペースが狭く感じることもある。	* 毎日清掃・消毒等を行い、清潔な生活空間の確保を心掛けています。また、安全性を確保するため定期的に施設点検を行い、必要時に改善を図っていきます。
	合計	5	4	3	0		

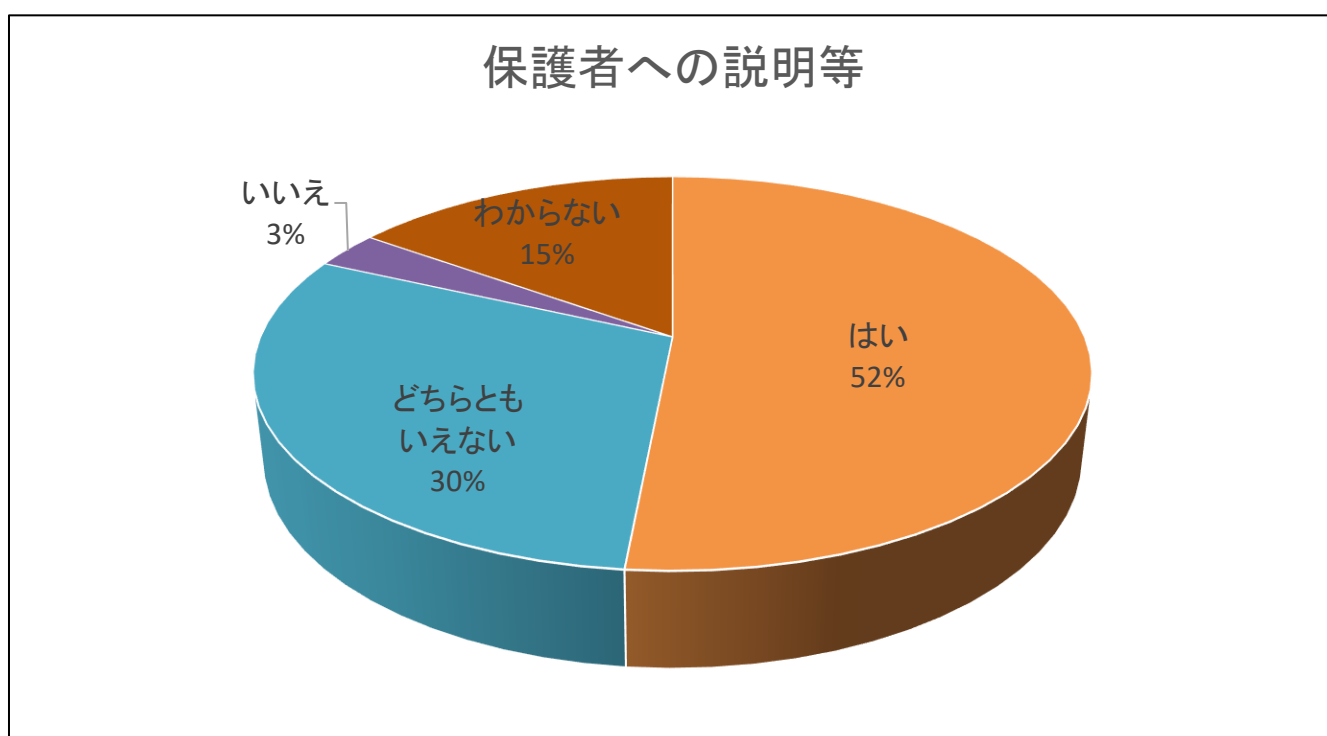


		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか	1	1	1	0	* 障害の特性や発達段階の理解を深め、職員間でも情報共有しながら必要な支援を受けて行けたらと思う。 * 情報共有を行い、どの職員さんでも同じ対応ができるようにお願いしたい。	* 子どもの特性についての理解を深めるため、アセスメントやモニタリングで得た情報を職員全員に伝達し、情報共有を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラム(*2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	2	0	0	1		* 1人ひとりの特性や課題に合わせ、支援プログラムを設定し、支援を行っています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(*3)が作成されていると思いますか	3	0	0	0		* モニタリングにサービス管理責任者とスタッフが参加し、評価と課題やニーズの分析を行い、個別支援計画を作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	2	1	0	0		* 計画の際に、児童発達支援ガイドラインの中から必要な項目を踏まえ、具体的な支援内容を設定しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか	2	0	0	1		* 支援を行う時は児童発達支援計画を念頭に置いて支援しています。
	10	事業所の活動プログラム(*4)が固定化されないように工夫されていると思いますか	2	1	0	0		* 評価の際に、プログラムについて見直しを行い、固定化しないように工夫しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか	0	1	1	1	* 震災の影響もあり、アリーナやふれ健などの他施設に行く機会は減ってしまったように思います。	* 子どもの遊び場やイベントが減っているが、ふれあい健康センター等へ出かけ、他の子どもたちと活動する機会を作っています。
		合計	12	4	2	3		

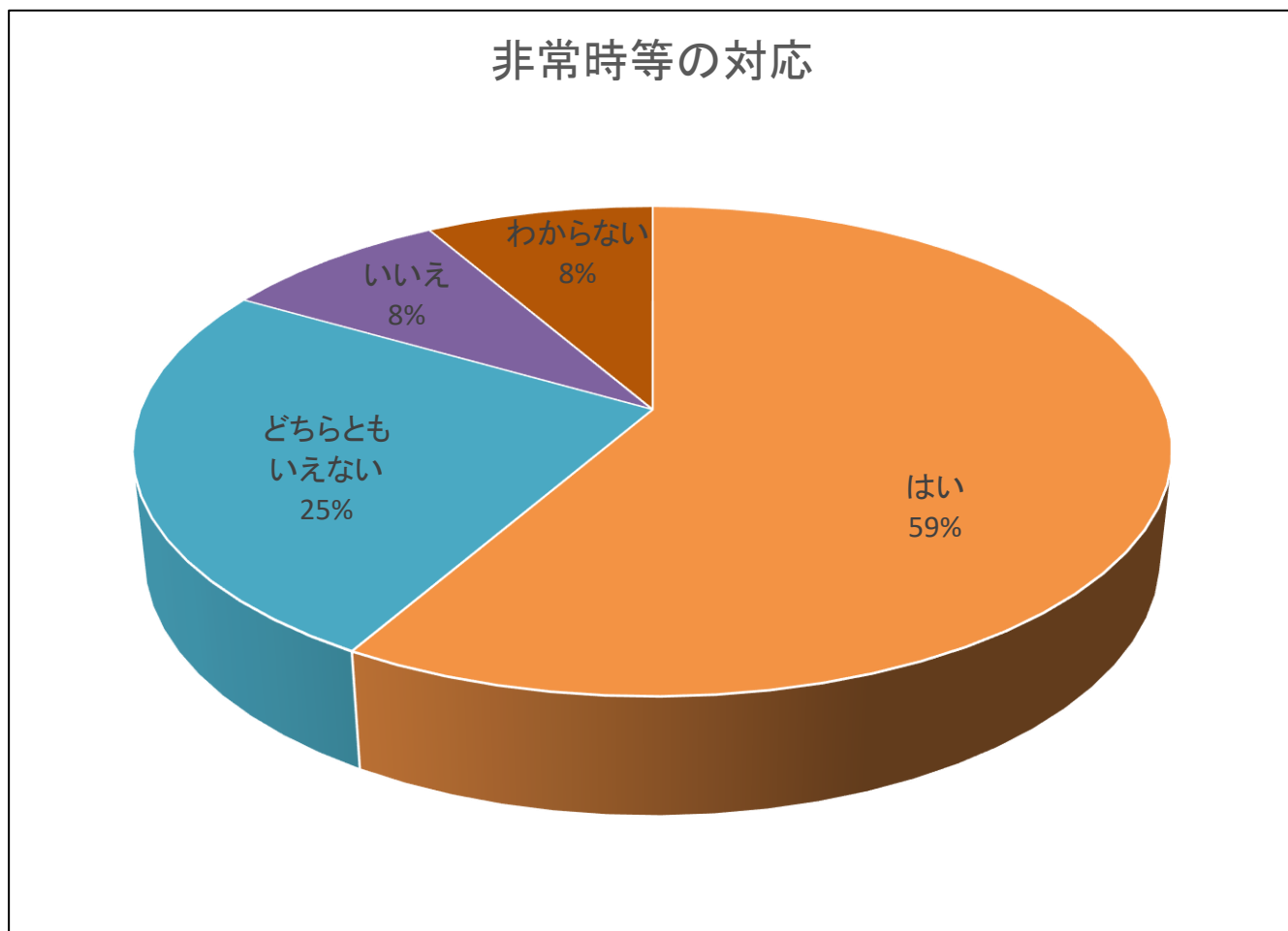
適切な支援の提供



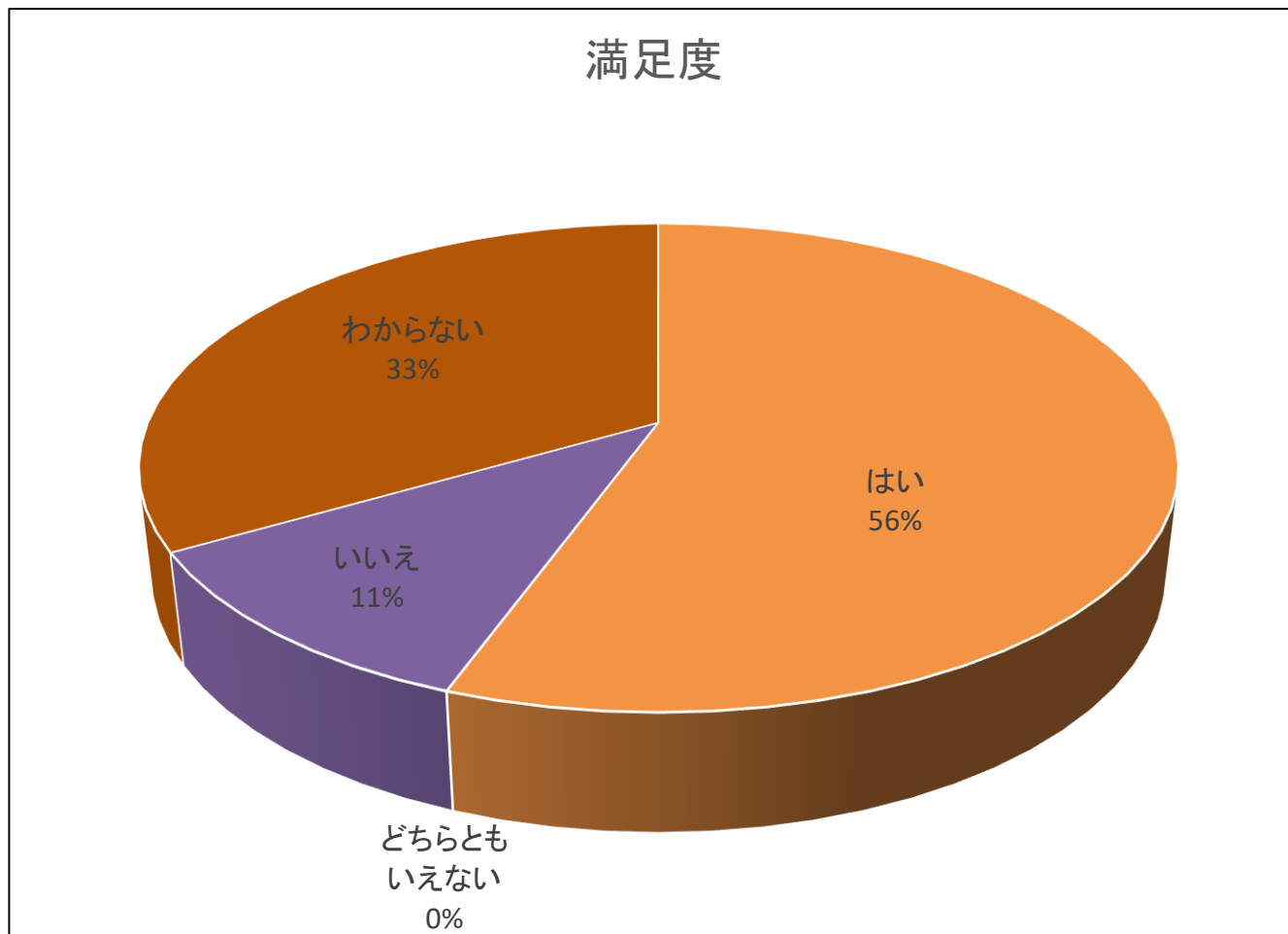
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか	2	0	0	1		* わかりやすい説明を心掛けています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか	3	0	0	0		* 口頭と書面により説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(*5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか	0	1	0	2		* 職員がペアレントトレーニングの研修を受け、体制を整えています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について、共通理解ができていますか	1	2	0	0		* 連絡帳にその日の状況を記載し、送迎時に対面で伝えたり、緊急時には電話等で連絡して情報共有をしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか	1	1	1	0		* 相談機能を充実させていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか	2	1	0	0		* 支援の際は子どもたちの利益を最優先した支援を心掛けています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか	0	2	0	1		* 今後は、感染対策をしっかりと取りながらご家族が参加できるイベント等を計画していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	2	1	0	0		* 保護者が要望を伝えやすい体制を整え、内容についても周知し、透明性を図ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	1	1	0	1		* 連絡帳や送迎時に情報を伝え合ったり、定期的にモニタリングを実施し、相談しやすいように配慮しています。
	21	定期的に会報やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか	2	1	0	0		* 毎月、行事予定のお便りを配布し、親の会の会報も随時発行しています。 * 自己評価の結果をホームページで公表し、お便り等でも配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分留意されていると思いますか	3	0	0	0		* 個人情報については、職員に周知徹底しています。
		合計	17	10	1	5		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか	2	1	0	0		* 各マニュアルは作成し、発生を想定した訓練も定期的実施しています。保護者様に対してはSNS等で周知する他、親の会やお便り等でも報告し周知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	2	1	0	0		* 毎月1回の訓練を実施しています。 * 法人のSNSにも掲載しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	1	1	0	1		* 安全計画を作成し、毎月の避難訓練や感染防止のための研修等を実施しています。
	26	事故等(怪我等を含む)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか	2	0	1	0	* 事故が起こらなかったとしても危険な事があった際は教えてほしい。	* 事故等が発生した際は、速やかに報告を行い、事業所として保護者様に状況を説明するよう徹底してまいります。
	合計			7	3	1	1	



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか	2	0	0	1		* 安全安心して通所していただけるよう、職員との信頼関係を大切に、一人ひとりと関わるようにしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしているか	2	0	0	1		* ご意見やご要望にできる限り添いながら、楽しく通所できるように支援しています。
	29	事業所の支援に満足しているか	1	0	1	1	* 本人・家族ともに安心して楽しく過ごせる場所であってほしい。	* 安全安心に楽しく通所していただけるよう環境を整え、一人ひとりの特性に合わせた支援や活動ができるように支援していきます。
	合計			5	0	1	3	



*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。